

令和7年度第2回大分県版図柄入りナンバープレート協議会議事録

●日時 令和8年3月6日(水) 13:30～14:00

●会場 大分県庁本館 71会議室

●出席者 以下の通り

〈委員〉

大分県商工観光労働部観光局観光政策課 課長 相本 健二 【会長】

公益社団法人 ツーリズムおおいた 専務理事 高野 信一

一般社団法人 大分県タクシー協会 専務理事 江熊 春彦

公益社団法人 大分県トラック協会 専務理事 島田 忠

一般社団法人 大分県バス協会 専務理事 望月 郁男

〈オブザーバー〉

九州運輸局大分運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整担当) 野中 綾介

大分県交通政策局地域交通・物流対策室 室長 田原 裕之

〈事務局〉

大分県商工観光労働部観光局観光政策課 岩本 文江

主事 福吉 琉七

●議事 R7年度の寄付金活用方針及び活用事業(案)について

1 報告

(1) 今年度実施事業について

○公共交通機関維持確保のための運転士確保事業(タクシー協会)

資料1のとおり

○観光旅行客利便性向上のための観光情報PR事業(バス協会)

資料②のとおり

(2) 実施事業についての質疑応答

○田原オブザーバー

採用された数は、バス、タクシーそれぞれの業界合わせて二十数名ほどとなりそうと報告されていたが、この数はチラシやポスターなどから採用に繋がった件数という認識で良いか。

(回答) 江熊委員

バスにおいては、相談会に来場された方。

タクシーにおいては、新人の研修の中で応募のきっかけとなった媒体をチェックした。そのアンケートでは、「チラシやポスターを見ての応募」が一番多く、20名以上だった。

○野中オブザーバー

「観光旅行客利便性向上のための観光情報PR事業」で作成したポスターのQRコードからのアクセス件数はどのぐらいか。

(回答) 望月委員

現在調査中である。昨年度よりは減少する見込み。

2 議事

(1) 令和8年度の事業実施について

○事務局

今年度で事業者が1巡する。予定では、来年度はトラック協会の順番であるが、これまで事業経費として活用してきた前年度からの繰越金額が減少傾向であることを踏まえ、今後の事業をより充実した内容とするため、令和8年度は寄付金を留保し令和9年度以降の事業予算を貯蓄する年としたい。

○各委員

異議なし

(2) 今後の寄付金活用について

○事務局

(資料3の3つの案を提示。)

各委員で3つの案を持ち帰っていただき、令和8年度第1回大分県版図柄入りナンバープレート協議会にて、令和9年度以降の活用方法を決定したい。

(事務局の案に対する意見)

○江熊委員

寄付金を活用した、人材確保の事業について「地方版図柄入りナンバープレートの寄付金活用事業助成実施要領」で定める「公共交通機関等の維持確保に資する事業」にトラック協会を含めてよい
か、事務局から本部に対し確認をしてほしい。トラック協会を含めることで、相談会の参加者の増加も考えられ、相乗効果が期待できる。

また、寄付金の活用方法については、第3案が妥当であると考えている。人材確保の事業は、非常に重要であると考えており今後も継続してやっていきたいが、今年度の事業費から考えると200万は予算を確保する必要がある。

○相本会長

事務局でトラック協会を含めた人材確保事業が可能かどうかを次回の協議会までに確認すること。

その確認結果を踏まえ、次回の会議の中で活用方法を検討することとする。

⇒○各委員

異議なし。

(3) 今後のスケジュールについて

○事務局

資料4について説明

○各委員

異議なし

3 今後の方針

次回の、令和8年度第1回大分県版図柄入りナンバープレート協議会にて、令和9年度以降の寄付金の活用方法を決定することとする。